秋から「法学部法律学科3年生」に

法学部3年次の78年夏、拉致さ れてから26年ぶりになる。 してこの秋から正式に復学した。 池薫さん(47)が中央大学生と 北朝鮮による拉致被害者、蓮 も当時と同様である。

認した。 学部法律学科3年次」への再入 学を認める議案を異論なく承 復し、同日付で在籍時と同じ「法 除籍(83年)とされた学籍を回 について審議し、消息不明のまま 池さんから提出された「復学願」 法学部教授会は9月2日、蓮

学部法律学科第3年次への再 入学を許可する。 ▽2004年9月24日付で法 決定した内容は次の通り。

ては、専任教員のアドバイザーをおき 入学当時の140単位とする。 ▽今後の具体的な学修内容等につい ▽在学期間を8年次までとする。 ▽卒業に必要な単位数は1976年 ▽今年度の履修届・登録を認める。

> 本人と相談しながら決める。 《76A11×××××》。 学籍番号

月、両親の嘆願を受け法学部教授会は、 拉致の可能性が濃厚になった98年6

大学はその日ただちに教授会の決定

の意思表示――を 歓迎する」旨を表 康司前学長、角田 の帰国後は、阿部 02年10月蓮池さん ②蓮池さんの帰国 学の意思があれば 邦重学長そろって「復 三郎理事長、鈴木 める」方向を確認 前提に「復学を認 ③本人による復学 ①拉致の事実判明

明していた。

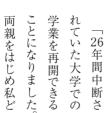
による「中央大学への復学のお願いにつ り始めたことから、8月22日付で文書 3カ月がたち家族の生活も軌道に乗 蓮池さんは、二人の子供が帰国して

> アされ、24日の教授会決定となった。 伝えた。このことですべての条件がクリ らと直接会い、薫さんの復学の意思を 透さんが金井貴嗣法学部長

いて」を提出、9月9日には兄

内容を蓮池さんに伝え、再入学許可証 それに蓮池さんへ あてた阿部理事長

スコミを通じて、 からのメッセージを 紙、金井法学部長 角田学長連名の手 池さんは同日夕、マ 添え、送付した。蓮



時とは異なるため、履修の方法など全 のまま学生生活を送る。講座内容も当 も家族のひとつの願いがかないました」 と喜びの談話を出した。 蓮池さんは当面、新潟・柏崎市在住

> ザーが調整にあたることになる。アドバ 長補佐)が決まり、10月2日、柏崎市に 般について、専任のアカデミック・アドバイ についての最初の話し合いを行った。 た「学生証」を手渡すとともに、履修 出向き、蓮池さんに新たに再発行され イザーには小杉末吉法学部教授(学部

阿部理事長・角田学長の手紙(一部)

ことが出来るよう願っております」 う』を、ご両親様やお子様と一緒に祝う すが、ぜひ近い将来、『ご卒業おめでと めでとう』を申し上げることになりま して、我々は今回で二度目の『ご入学お 深く敬意を表します。……薫様に対 た勉学を再開したいとのご決意を伺い、 一志半ばで中断を余儀なくされてい

金井法学部長からのメッセージ

いただきます 応えてできる限りのサポートをさせて 中央大学法学部は、蓮池さんの決意に 相当の努力が必要になると思いますが れしく思います。これからの勉学には て勉学を再開されることをたいへんう きるようになり、中央大学の学生とし - 蓮池薫さんが、ご家族|緒に生活で